

客員教授のご紹介



針塚 進 先生（九州大学名誉教授・中村学園大学教授）

専 門：臨床心理学

出勤日：第1・3火曜 午前

学生への一言：色々な事情があるでしょうが、少しずつでも続けてください。



柳原 正治 先生（九州大学大学院教授）

専 門：国際法

出勤日：第2・4水曜 午前

学生への一言：放送大学の施設を最大限活用して下さい。学習の時間はみずから作り出すものです。



樽木 晶子 先生（九州大学大学院教授）

専 門：循環器内科学・生理学・臨床看護学

出勤日：第1・3日曜 午後

学生への一言：勉強は年齢と関係なく楽しいことです。記憶力の減退にいらだちながらも新しいことを学びたいという好奇心を持ち続けたいと思っています。



高山 倫明 先生（九州大学大学院教授）

専 門：日本語学

出勤日：第1・3金曜 午前

学生への一言：放送大学についてはほとんど予備知識を持っていませんでした。これからしっかりとその仕組みを学び、みなさまの学習に少しでも貢献できたらと思っています。



大槻 恭一 先生（九州大学大学院教授）

専 門：森林水文学

出勤日：第2・3土曜 午前

学生への一言：私の場合、仕事で森林を巡る水の振る舞いを究明することに加え、趣味で東アジアについて学んでいくことが楽しくて毎日を過ごしています。齢を重ねるごとに、衰えよりも若さを実感しています。向学心が若さの秘訣。楽しく学びましょう。



宮本 敬久 先生（九州大学大学院教授）

専 門：食品衛生化学、食品保存学

出勤日：第2・4土曜 午前

学生への一言：実験をして出た結果や観察結果について「なんでそうなるの？」を考えることは楽しいです。なんとなく分かっていそうで実は良く分かっていないことが自然界にはまだ、たくさんあります。新しい発見にあふれています。楽しく学びましょう。



中村 知靖 先生（九州大学大学院教授）

専 門：計量心理学

出勤日：第2・4土曜 午後

学生への一言：心理学は他の学問と比べると歴史が浅く、ここに関して解明されていないことが多いです。分からないことが多いだけに、学問として面白さや楽しさがあります。心理学に限らず、様々なことに興味を持ち、多くのことを学んでください。



岩崎 義則 先生（九州大学大学院准教授）

専 門：日本近世史

出勤日：第2・4金曜 午後

学生への一言：最近、長崎県が推進する教会群の世界遺産登録に関する調査・研究に従事しています。潜伏キリシタン、カトリック教会の歴史を研究するためには、現地フィールドワークが重要だと実感できました。歴史学、特に日本近世史は、体力も貴重な研究能力の一つです。



高野 泰志 先生（九州大学大学院准教授）

専 門：アメリカ文学

出勤日：第1・3木曜 午前

学生への一言：未知の言葉に出会ったときのどきどき感を忘れずに、毎日少しずつでも継続してください。



加藤 浩 先生（西南学院大学准教授）

専 門：産業組織論

出勤日：第2・4日曜 午後

学生への一言：本を読みましょう。学習の第一歩です。私も空いた時間には（携帯をいじらず）本を読むようにしています。それでは学習センターでお会いしましょう。

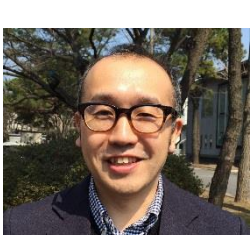


古賀 聡 先生（九州大学大学院准教授）

専 門：臨床心理学

出勤日：第2・4火曜 午前

学生への一言：カウンセリングに代表されるように心のあり様は「言葉」で表現されることが多いです。しかし、言葉をもたない赤ちゃんや通常の会話を続けることが難しくなった患者さんたちも、様々な手段を用いて今の自分の気持ちを表現することが可能です。芸術表現も含めて、自分の気持ちの表現手段の多様さが、私たち人間の、人間らしさなのではないかと私は考えています。学問も表現手段の一つです。一緒に学びましょう。



菊池 悌一郎 先生（九州工業大学准教授）

専 門：臨床心理学

出勤日：第1・3木曜 午後（北九州）

学生への一言：学ぶことは、自分の可能性に気づき、広げることになります。良い教師や書籍との出会い、そしてなによりも好奇心を持ち続けることが大事なのだと思います。